

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月14日
函館市立湯川中学校

1 本年度の重点教育目標

確かな学びを通して自信をもち、自分らしく未来を生きる生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- 1 教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの質の向上
- 2 多様な学びを通じて、学びの基礎を担保する教育活動の充実
- 3 自他の尊重、共感的人間関係をベースにした発達支持的生徒指導の推進
- 4 生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育と不登校対策の充実
- 5 家庭・地域社会との連携・協働の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
1 カリキュラム・マネジメントの質の向上	教育目標の実現に向け育課程の編成・実施・評価・改善	a		A	A	
	学校課題（不登校、学力向上）解決へと向かう組織運営・実践	a		A	A	
2 学びの基礎を担保する教育活動の充実	望ましい学習習慣の定着と基礎基本の確実な定着（学力向上）を図る取組	b	生徒一人一人のニーズに応える多様な学習方法や学習機会を確保し、学びに向かう姿勢の育成に尽力する。	A	A	生徒のニーズを理解し、リモートでの対面学習実施など、取組の成果が結果として現れている。
	校内研修を中心とした、教職員の資質能力の向上と授業改善のための取組	a		A	A	
3 発達支持的生徒指導の推進	基本的生活習慣の確立と発達支持的（積極的）生徒指導の推進	a		A	A	
	主体性を尊重し自治をめざす生徒会活動の育成（生徒会・専門委員会と学級の連携）	a		A	A	
4 特別支援教育と不登校対策の充実	いじめ・不登校対策の推進と生徒支援委員会の機能的活用	a		A	A	
	教育相談活動（ふれあい活動・日常の語り合い・PCや紙面交流等を含む）の充実	a		A	A	
5 家庭・地域社会との連携・協働の推進	小中連携、学校運営協議会、校外生活委員会等の計画的推進	a		A	A	ホームページや学校通信の全戸配布により中学校の様子がよくわかる。授業参観や行事に参観する保護者が多く、学校・家庭・地域の信頼関係が構築されている。
	行事公開、参観日・学校(学級)だより・クラスルーム・HP等での積極的情報発信・信頼関係の構築	a		A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。